

動詞の活用形と活用の種類（口語）（ ）（年）（ ）組（ ）

○活用形：未然形（〜ない・〜う・〜よう）・連用形（〜て・〜た・〜ます・〜用言）

終止形（〜）・連体形（〜とき・もの）・仮定形（〜ば）・命令形（〜！）

○活用の種類：五段活用・上一段活用・下一段活用・カ行変格活用・サ行変格活用

問一、次の文章の中から「動詞」を見つけ、例のように傍線（――）を引き、活用形と活用の種類を書きなさい。

（例）連体形・サ行変格

わたしの朝はだいたい二度寝することからはじまる。8：00。

アラームが鳴る。だがそれは鼓膜に届くことはあるが、

脳にまで届くことはない。8：05。再びアラームが鳴る。その不

快な音はやっとなわたしの脳まで押し寄せる。この五分間、寝ていた

わけでもなく、ただウトウトと狭間をさまよっていた。

車の走る音。鳥の鳴く声。カーテンの隙間からこぼれる光。そのす

べてに、わたしという自堕落は起き上がることなく、陰鬱な気持ち

になっていた。

連体形・サ行変格

終止形・(マ行) 五段

わたしの朝はだいたい二度寝することからはじまる。8：00。

終止形・(ラ行) 五段

連体形・(カ行) 五段

連体形・(ラ行) 五段

アラームが鳴る。だがそれは鼓膜に届くことはあるが、

連体形・(カ行) 五段

終止形・(ラ行) 五段

脳にまで届くことはない。8：05。再びアラームが鳴る。その不

終止形・(サ行) 下二段

連用形・(ナ行) 下二段

快な音はやっとわたしの脳まで押し寄せる。この五分間、寝ていた

連用形・(ワ行) 五段活用

連用形・(ア行) 上一段

わけでもなく、ただウトウトと狭間をさまよっていた。

連体形・(ラ行) 五段

連体形・(カ行) 五段

連体形・(ラ行) 下二段

車の走る音。鳥の鳴く声。カーテンの隙間からこぼれる光。そのす

連体形・(ラ行) 五段

べてに、わたしという自堕落は起き上がることなく、陰鬱な気持ち

・連用形・(ラ行) 五段活用

連体形・(ア行) 上一段

になつて
いた。